

Acer Projector PD523P/ PD525P/PD527 シリーズ

廃棄に関する指示

この電子装置を廃棄するときは、ゴミ箱に捨てないでください。汚染を最小限に抑え地球環境を最大限に保護するため、この装置を再使用しリサイクルしてください。



米国

LCD/CRTモニタまたはディスプレイ、または超高圧水銀ランプを含む電子製品の場合:



製品内のランプには水銀が含まれており、国または地方自治体の法に従ってリサイクルまたは廃棄する必要があります。詳細については、エレクトロニクス産業協議会www.eiae.orgまでお問い合わせください。ランプ固有の廃棄情報については、lamprecycle.orgをチェックしてください。

目次	1
安全上のご注意	3
使用上のご注意	3
はじめに	11
製品の特徴	11
パッケージ内容	12
製品の概要	13
メインユニット	13
コントロールパネル	14
接続ポート	15
リモコン（レーザーポインタ付き）	16
インストール	17
インターネット	17
プロジェクタの電源オン/オフ	19
プロジェクタの電源をオンにする	19
プロジェクタの電源をオフにする	20
警告インジケータ	20
投影された映像の調整	21
プロジェクタの高さを調整する	21
プロジェクタのズーム/フォーカスを調整する	22
画面サイズと投射距離の目安	22
ユーザーコントロール	23
コントロールパネル&リモートコントロール	23
オンスクリーン・ディスプレイメニュー	27
操作方法	27
カラー(コンピュータ/ビデオモード)	28
イメージ(コンピュータ/ビデオモード)	30
管理(コンピュータ/ビデオモード)	32
オーディオ(コンピュータ/ビデオモード)	35
タイマー(コンピュータ/ビデオモード)	36
言語(コンピュータ/ビデオモード)	37
ワイヤレスプロジェクション	38
はじめに	38
システム要件	38
I/Oインターフェイス	38
WPGのセットアップ	39

初めてWPGに接続する	39
ソフトウェアをダウンロードする	40
プロジェクタに接続する	42
オーディオ機能を使用する	43
Acer WPGを設定する	45
プロジェクタID	45
設定パスワードのセットアップ	45
ファームウェアのアップグレード	47
ネットワーク設定	47
プロジェクションコントロール	48
非表示	48
一時停止	48
プロジェクタのリモコン	48
ホットキーの説明	48
付録	49
トラブルシューティング	49
ランプの交換	52
仕様	54
互換モード	55
規制と安全通知	56

安全上のご注意

ご使用の前に必ずお読みください。

正しくお使いいただくことでお使いになる方への危害および、財産への損害を未然に防ぐことができます。安全のために以下の警告事項、注意事項をお守りいただき、製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

「安全上のご注意」の絵表示

 警告	 注意
この表示を無視して誤った取り扱いをすると、死亡したり、人体に多大な損傷を負う可能性が想定される内容を示しています。	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が損傷を負う可能性又は物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵記号の意味



この記号は注意（警告を含む）しなければならない内容であることを示しています。記号の中や近くに注意内容が示されています。

例)



「感電注意」を表す絵表示



この記号は禁止の行為（やってはいけないこと）を告げるものです。記号の中や近くに具体的な内容が書かれています。

例)



「分解禁止」を表す絵表示



この記号は必ず行っていただきたい行為を告げるものです。記号の中や近くに具体的な内容が書かれています。

例)



「電源プラグを抜く」を表す絵表示

安全上のご注意

注意

 禁止	本製品は以下のようなところ（環境）で使用および保管をしないでください。 故障の原因となることがあります。 ● 湿気が多いところやホコリが多いところ ● 直射日光があたる場所 ● 温湿度差の激しいところ ● 水気が多いところ（台所、浴室、水辺、海岸など） ● 腐食性ガス、油煙の中 ● 静電気の影響が強いところ ● 熱の発生する物の近く（ストーブ、ヒーター、コンロなど） ● 強い磁力電波の影響を受けるところ（磁石、ディスプレイ、スピーカなどの近く） ● 振動や衝撃の加わる場所や傾いた場所 ● 保温性・保湿度の高い（じゅうたん・カーペット・スポンジ・ダンボール・発泡スチロールなど）場所での使用（保管時は問題ありません）
 禁止	本製品は精密部品により構成されています。以下のことにご注意ください。 ● 落としたり、衝撃を加えない ● 本製品の上に飲み物などの液体や、クリップなどの小部品を置かない ● 重いものを上にのせない ● 本製品のそばで飲食・喫煙などをしていない
 厳守	ケーブルは足などに引っ掛けないように、配線してください。足を引っ掛けると、けがをしたり、接続機器の故障の原因になります。また、ケーブルの上に重いものを載せないでください。じゅうたんの下などに配線したときは気づかず重いものを載せてしまいがちですので十分注意してください。また、熱器具のそばに配線しないでください。ケーブル被覆が溶けたり、破れたりし、接触不良などの原因になります。
 厳守	ほかの電子機器に隣接して設置した場合、お互いに悪影響をおよぼし電波傷害をひきおこすことがあります。特に近くにテレビやラジオなどがある場合、音声か乱れたり、画像が乱れたりする場合があります。その場合は次のようにしてください。 ● テレビやラジオなどからできるだけ離してください。 ● テレビやラジオのアンテナの向きを変えてください。 ● コンセントを別に分けてしてください。

安全上のご注意

 厳守	長時間に渡って映像をみるばあいは一定の間隔で休憩をとってください。また部屋を真っ暗にすると目に疲労が蓄積されますので部屋を適度に明るくしてご覧ください。
 禁止	排気ファン動作中は電源ケーブルを抜かないでください。冷却ファンの回転音が止まり、主電源をオフにしてから電源ケーブルを抜いてください。
 禁止	ランプモジュールのお取り扱い時は、手袋などをして素手ではさわらないようにしてください。ランプモジュールのプラスチック部分以外は、絶対にさわらないでください。破損する恐れがあります。
 厳守	ご使用直後はランプモジュール部分は大変高温になっています。絶対に触れないでください。ランプモジュールの交換はご使用後1時間程度放置し、余熱が完全に取れてから行ってください。やけどの恐れがあります。
 厳守	ランプモジュールを落とさないようご注意ください。ガラスが散り、けがをする恐れがあります。
 禁止	指定の電池（単4型乾電池）以外は使用しないでください。指定以外の電池を使用した場合、故障の原因となります。
 厳守	電池を使い終わったときや、長時間使用しない時は取り出してください。電池を入れたままにしておくと、過放電により液が漏れ、けが、故障などの原因となります。
 厳守	取り付け時には、極性に十分注意して取り付けてください。（電池には＋極と－極があります。）故障の原因となります。
 注意	本製品を使用中にデータなどが紛失した場合でも、データなどの保証は一切いたしかねます。故障に備えて定期的にバックアップをお取りください。

安全上のご注意

警告

 厳守	煙がでている、へんなにおいがする、へんな音がするなどの異常が発生したときはすぐに使用を中止してください。万一異常が発生した場合は電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。そのまま使用すると、感電したり、火災の原因になります。
 水濡れ禁止	本製品を濡らさないでください。水気の多い場所で使用しないでください。 お風呂場、台所、海岸・水辺での使用は火災・感電・故障の原因となります。
 厳守	本製品を設置するときは、他の機器、壁などから適当な間隔をとってください。内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。目安として10cm以上の空間を空けてください。
 禁止	本製品は紙、布などの柔らかいものや軽いものの上に設置しないでください。通気孔（レンズに向かって右側面と、背面）に吸いついて内部の温度が上昇し、火災の原因となることがあります。
 禁止	本製品を使用するときは近くに燃えやすいものを置かないでください。 火災の原因となることがあります。
 厳守	温度差のある場所への移動するとき、表面や内部が結露することがあります。結露した状態で使用すると、火災や感電の原因になります。使用するところで電源を入れずにそのまま数時間放置してからお使いください。
 分解禁止	改造・分解はしないでください。お客様により修理は行なわないでください。 火災や感電、やけど、動作不良の原因になります。
 禁止	本製品内部へ異物を入れないでください。金属類や燃えやすい物などを入れないでください。火災や感電の原因になります。特に通風孔には異物がはいらぬよう注意してください。
 禁止	使用中はレンズをのぞかないでください。 レンズからは非常に強い光が発せられていて、目を痛める原因となりますので、絶対にのぞかないでください。

安全上のご注意

 禁止	リモコンのレーザー光を人の目にあてたりしないでください。 目を痛める原因となりますので、絶対にのぞき込まないでください。本リモートコントロールにはクラスIIレーザーが装備されています。
 禁止	本製品は下記のようなところで使用しないでください。故障の原因になったり、思わぬ事故のもとになります。 ● ほこりの多いところ ● 振動や衝撃の加わる場所 ● 不安定な場所 ● 通気孔（レンズに向かって右側面と、背面）がふさがるところ ● 温度差の激しいところ ● 水分や湿気の多いところ ● 温度が高いところ
 禁止	使用中や使用後は排気孔（レンズのある面）およびその回り、設置台が熱くなります。 やけどの原因になりますので、触らないでください。
 厳守	ランプモジュールを交換するときは、必ず電源ケーブルをコンセントから抜いて行なってください。感電の原因となります。
 禁止	ケーブルは付属のものを使用し、次のことに注意して取り扱ってください。取り扱いを誤ると、ケーブルが傷み、火災や感電の原因になります。 ● 引っ張ったり、折り曲げたりしない ● 圧力をかけたり、押しつけない、ものをのせない ● 加工しない ● 熱器具のそばで使わない
 禁止	ぶつけたり、落としたりして衝撃を与えないでください。そのまま使用すると、火災や感電、故障の原因になります。
 厳守	電源プラグはほこりが付着していないことを確認して使用してください。接触不良で火災の原因になります。電源プラグは根本までしっかりさしてください。根本までさしてもゆるみがある場合は接続しないでください。販売店や電気工事店に依頼し、コンセントを交換してください。電源コンセントはたこ足配線、テーブルタップやコンピューターなどの裏側の補助電源への接続をしないでください。

安全上のご注意

 厳守	電源コードの抜き差しは必ずプラグ部分を持って行なってください。電源コードを引っ張るとケーブルが傷み、火災の原因になります。電源プラグをコンセントから抜き差しするときは、濡れた手で行なわないで下さい。濡れた手で行うと感電の原因になります。
 禁止	電池の液が漏れたときは、液に触れないでください。 ● 電池の液が目にはいたり、体や皮膚につくと失明やけが、炎症の原因となります。液が目に入ったときは目をこすらず、すぐに水道水などのきれいな水で十分に洗い、ただちに医師の診察を受けてください。 ● 液が体や衣服についたときすぐに水道水などのきれいな水で充分洗い流してください。皮膚の炎症やけがなどの症状があるときは、医師に相談してください。
 厳守	電池は小さな子どもの手の届かない場所に置いてください。電池は飲み込むと、窒息したり、胃などに障害をおこしたりする原因になります。万一、飲みこんだときは、ただちに医師に相談してください。
 禁止	(+) (－) を金属類で短絡させないでください。液が漏れたりして、けがややけどの原因となります。
 厳守	電池から液が漏れたら、すぐに火気より遠ざけてください。漏れた液やそこから発生する気体に引火して、発火・破裂の恐れがあります。
 禁止	電池を火の中に入れたり、加熱・分解・改造・充電しないでください。また、水で濡らさないでください。液が漏れたりして、けがややけどの原因となります。
 厳守  注意  発火注意	電源ケーブルを取り扱つかうときは以下のことにご注意ください。 ● 電源ケーブルを無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったりしないでください。ケーブルを加工しないでください。 ● 電源ケーブルをコンセントから抜くときは、必ずプラグ部分を持って抜いてください。ケーブルを引っ張ると、ケーブルが傷み、火災・感電・故障の原因となります。 ● 濡れた手で電源ケーブルのプラグをコンセントに接続したり抜いたりしないでください。感電の原因となります。電源ケーブルがコンセントに接続されているときには濡れた手で本体に触らないで下さい。感電の原因となります。 ● 電源ケーブルのプラグは根本までしっかり差し込んでください。ほこりが付着していないことを確認してからおこなってください。接触不良で火災の原因となります。
 厳守	本製品を使用する際は、接続するパソコンや周辺機器メーカーが指示している警告、注意表示を厳守してください。

安全上のご注意

設置場所について

本プロジェクターは200 wのランプを使用しており、内部が大変熱くなります。以下の設置場所をお守りください。

- 風通しの良いところに設置してください。内部に熱がこもらぬ様、充分注意し、通風孔（レンズに向かって右側面と背面）をふさぐことなく、充分な空気循環ができるようにしてください。
- 高音になる場所には設置しないでください。直射日光にあたる場所や、熱器具（ストーブ、ヒーター、ホットカーペットなど）の近くに設置しないでください。
- 屋内で使用してください。屋外で使用することを前提に設計されてません。故障の原因になります。
- 設置場所の強度が充分あるところに設置してください。高い場所への設置時は、ぶつかったり、落下したりしないことを十分に注意し、安全に設置してください。
- 油煙や腐食性のガスのあるところには設置しないでください。
- 振動や連続的な衝撃の加わるようなところには設置しないでください。

見る場所について

- 画面との距離を適度にとってご覧ください。
- 暗すぎる部屋は目を疲れさせるのでよくありません。適度な明るさの中でご覧ください。長時間見るときは適度に休憩をしてください。

お手入れについて

- レンズや本体が汚れたときは乾いた柔らかくきれいな布等で軽く拭いてください。汚れがひどいときは柔らかくきれいな布に水または中性洗剤を含ませて良く絞ってから軽く拭いてください。
- 水滴などがレンズについた場合はすぐに乾いた柔らかくきれいな布等で拭いてください。そのまま使用すると、表示面が変色したり、シミになったりする原因となります。また、水分がつくと故障の原因となります。
- 清掃を行なうときは、かならず電源を切り、電源コードをコンセントから抜いてください。

安全上のご注意

ランプの寿命について

- 本製品で使用しているランプモジュールには寿命があります。標準約2,000時間になります。交換時期になると警告メッセージが画面内に表示されます。ランプ交換のページの方法に従い、ランプモジュールを交換してください。
- ランプは消耗品扱いです。
- ランプモジュールの寿命はあくまで目安として提示されるもので、この限りではない場合があります。あらかじめご了承ください。

その他注意事項

- 保管時は高温多湿を避け、ほこりなどが進入しないよう保管して下さい。
- 長期間使用しないときは、コンセントから電源プラグを抜いてください。
- 持ち運びするときは、添付のソフトケースなどにしまい、衝撃をあたえたり、雨に濡らしたりしないよう注意してください。
- レンズは傷つき易いので硬い物でおしたり、こすったり、たたいたりしないでください。また、強い圧力をレンズおよび周囲に与えないで下さい。破損の恐れがあります。
- やむを得ず宅配便などで郵送する際は、オプションの専用ハードケースを利用するか、購入時のダンボールとクッションをお使いすることをおすすめします。
- Microsoft、Windows、Windows NT、Windows Me、Windows 2000は米国マイクロソフトコーポレーションの米国およびその他の国における登録商標です。
- 本書の内容の一部または全部を無断転載することはかたくお断りいたします。
- 本書の内容については、将来予告なしに変更するばあいがあります。



この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

製品の特徴

当製品はXGAシングルチップ DLP™ プロジェクタです。以下の優れた機能が搭載されています：

- ◆ リアルXGA, (1024 x 768 ピクセル)
- ◆ シングルチップ™ 技術
- ◆ NTSC3.58/NTSC4.43/PAL/SECAM およびHDTV 対応 (480p、576i/p、720p、1080i)
- ◆ ハイテフDVI接続（HDCP機能を搭載し、480p、576p、720p、1080iをサポートするデジタル信号用）（オプション）
- ◆ フル機能のリモコン（レーザーポインタ付き）
- ◆ ユーザーフレンドリーな多言語オンスクリーン・ディスプレイメニュー
- ◆ 高度なデジタルキーストーン補正および高品質フル画面画像リスケーリング
- ◆ ユーザーフレンドリーなコントロールパネル
- ◆ SXGA+, SXGA 圧縮およびVGA, SVGA リサイジング
- ◆ Apple Machintosh交換

パッケージ内容

本機には、以下のアイテムが含まれています。すべてのアイテムが揃っているかご確認ください。不足品がある場合には、ただちにお買い求めの販売店へご連絡ください。



レンズキャップ付きプロジェクタ



1.8m 電源コード



VGA Cable 1.8m



2m コンポジットビデオケーブル



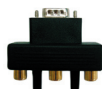
USBケーブル1.8m



1.8m VGAケーブル



オーディオケーブル
ジャック/ジャック1.8m



VGA対コンポーネント
/HDTVアダプタ



リモコン（レーザーポインタ付き）



電池 x 2



携帯用ケース



ユーザーズガイド

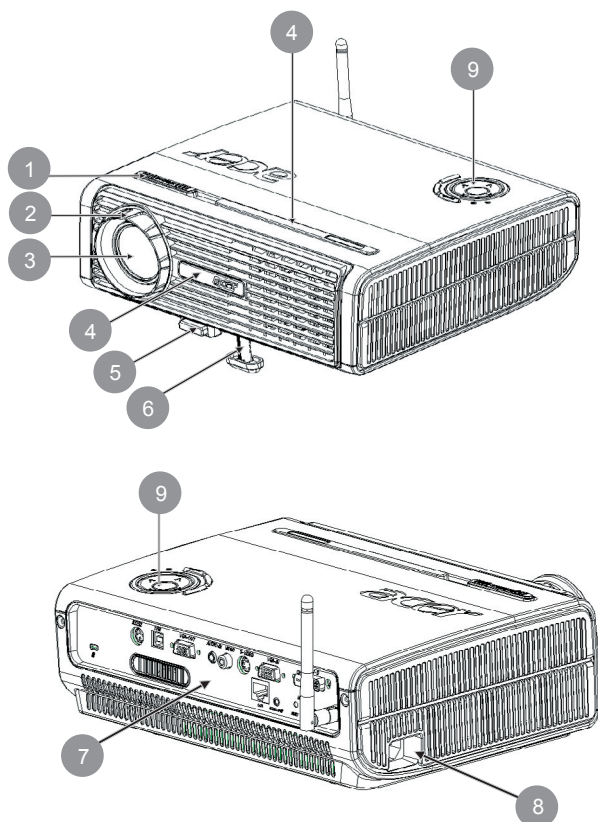


クイックスタートカード



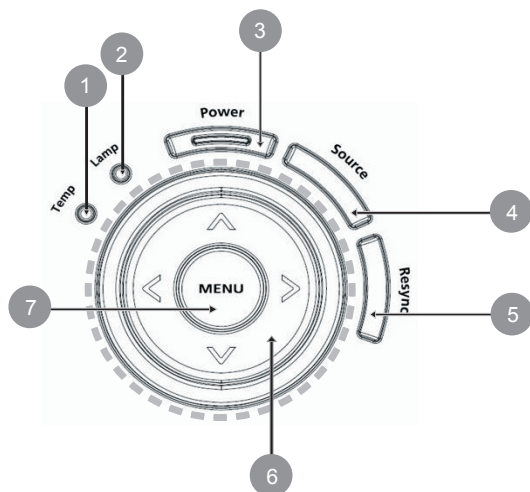
アンテナ（PD525PW/
PD527Wのみ）

クイックスタートカード メインユニット



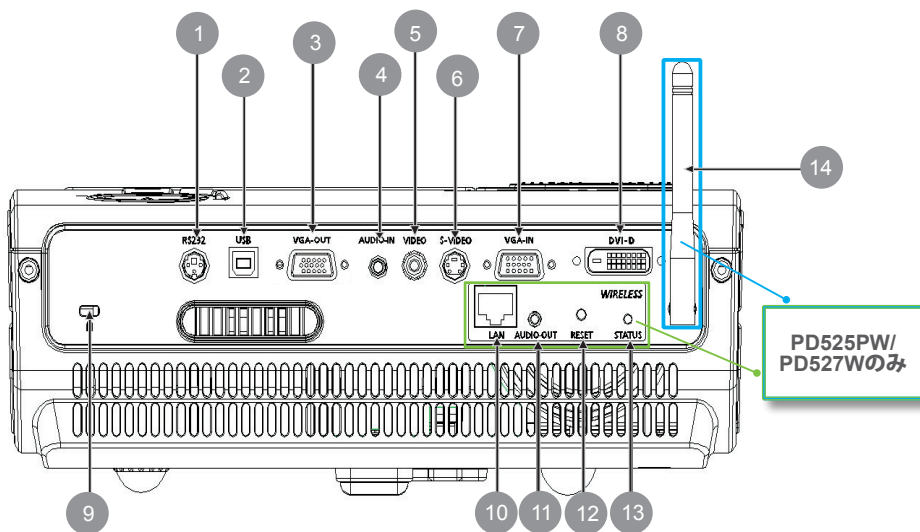
1. フォーカスリング
2. ズームリング
3. レンズ
4. 赤外線レシーバ
5. エレベーターボタン
6. エレベーターフット
7. 接続ポート
8. 電源ソケット
9. コントロールパネル

コントロールパネル



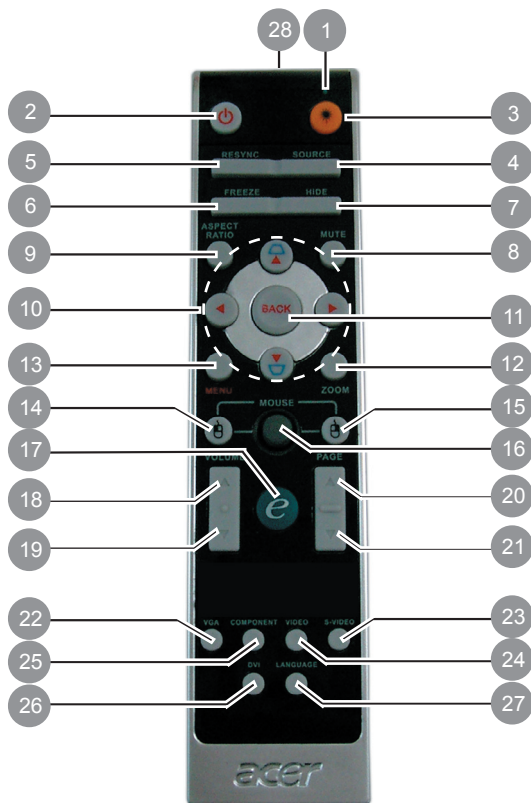
1. 温度警告LED
2. ランプ警告LED
3. 電源とインジケータLED（電源LED）
4. ソース
5. リシンク
6. 4方向選択キー
7. メニュー位置

接続ポート



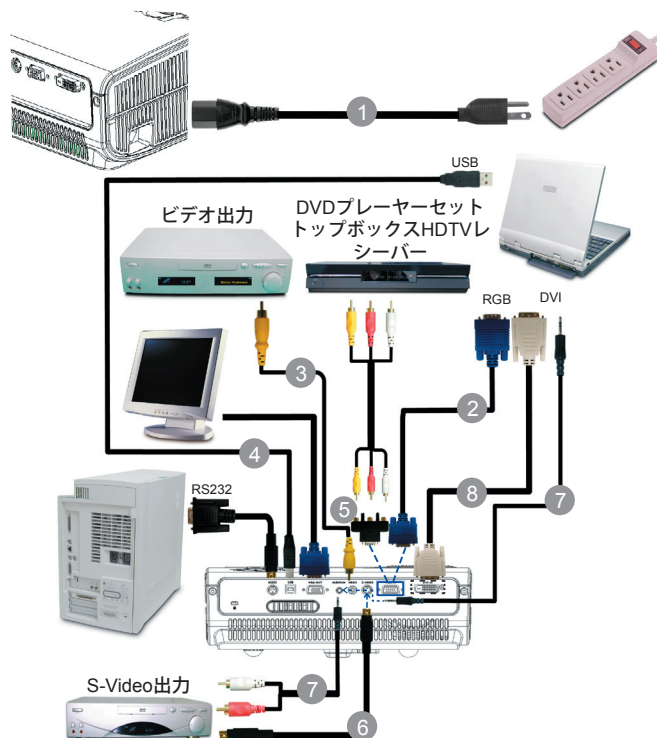
1. RS232コネクタ
2. リモートマウス用USBコネクタ
3. モニタ出力コネクタ(VGAアウト)
4. オーディオ入力コネクタ
5. コンポジットビデオ入力コネクタ
6. Sビデオ入力コネクタ
7. PCアナログ信号/HDTV/コンポーネントビデオ入力コネクタ
8. DVI入力コネクタ(HDCP機能を搭載したデジタル信号用)(オプション)
9. Kensington™ ロックポート
- 以下のアイテムはPD525PW/PD527W専用です:**
10. Lan (10/100Mイーサネット用RJ45ポート)
11. オーディオ出力コネクタ
12. リセットボタン
13. ステータスインジケータ
14. アンテナ

リモコン（レーザーポインタ付き）



- | | |
|--------------------------|-----------------|
| 1. レーザーポインタ | 15. マウスの右クリック |
| 2. 電源 | 16. マウス |
| 3. レーザーボタン | 17. 機能割り当てキー |
| 4. ソース | 18. 音量アップ + |
| 5. リシンク | 19. 音量アップ - |
| 6. フリーズ | 20. ページアップ |
| 7. 非表示 | 21. ページダウン |
| 8. 消音 | 22. VGA |
| 9. 縦横比 | 23. Sビデオ |
| 10. キーストーン/4つの方向選択
キー | 24. ビデオ |
| 11. 戻る | 25. コンポーネント |
| 12. デジタルズーム | 26. DVI |
| 13. メニュー | 27. ワイヤレスまたは言語 |
| 14. マウスの左クリック | 28. 転送インジケータランプ |

インターネット



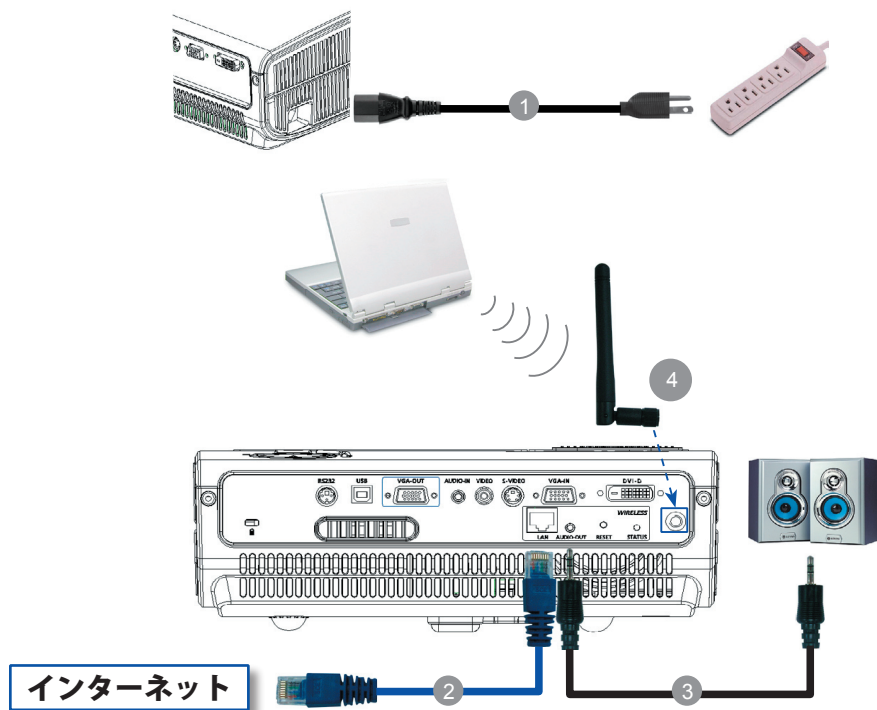
1. 電源コード
2. VGAケーブル
3. コンポジットビデオケーブル
4. USBケーブル
5. VGA対コンポーネント/HDTVアダプタ
6. S-Videoケーブル
7. オーディオケーブル/ジャック/ジャック
8. DVIケーブル(オプションのアクセサリ)

❖ プロジェクタがコンピュータで正常に作動するように、ディスプレイモードのタイミングがプロジェクタに一致していることを確認してください。55ページの“互換モード”の項をご参照ください。

インストール

インターネット

ワイヤレスプロジェクション



1. 電源コード
 2. LANケーブル
 3. オーディオケーブルジャック/RCA
 4. アンテナ
- (PD525PW/PD527W専用、ユーザーの側でアンテナを接続する必要があります)

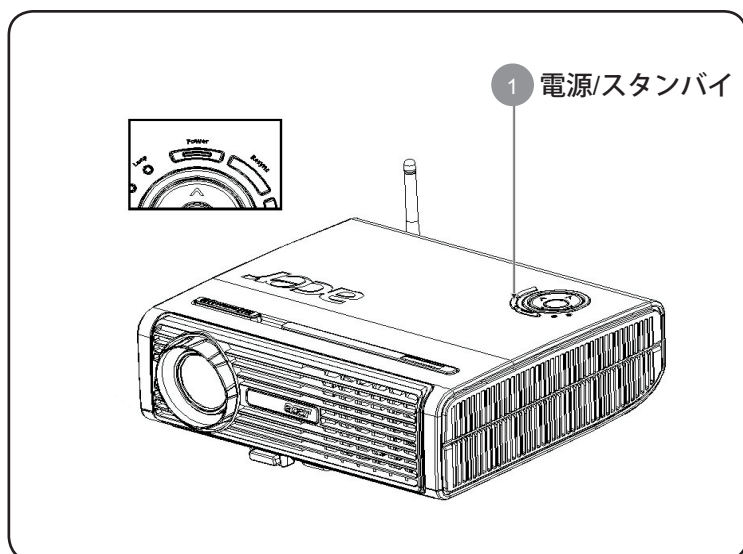
プロジェクタの電源オン/オフ

プロジェクタの電源をオンにする

1. レンズキャップを取り外してください。
 2. 電源コードと信号ケーブルがしっかり接続されているか確認してください。電源LEDが赤で点滅します。
 3. コントロールパネルの“電源/スタンバイ”ボタンを押して、ランプの電源を入れます。●電源LEDが青で点灯します。
 4. ご利用のソース（コンピュータ、ノートブック、ビデオプレーヤー等…）の電源を入れてください。プロジェクタがソースを自動検出します。
- ❖ 画面が「ロック」と「ソース」アイコンを表示する場合、プロジェクタがこのソースタイプでロックされ、そのタイプの入力信号が見つからないことを意味します。
 - ❖ スクリーンに“信号なし”と表示された場合、信号ケーブルが確実に接続されているか確認してください。
 - ❖ 複数のソースが同時に接続されている場合は、リモートコントロールまたはコントロールパネルの“ソース”ボタンで切り換えを行ってください。



❖ ソースの電源を入れる前に、プロジェクタの電源を入れてください



インストール

プロジェクタの電源をオフにする

1. 「電源/スタンバイ」ボタンを押してプロジェクタランプをオンにすると、「電源ボタンをもう一度押して遮断プロセスを完了してください。警告:プロジェクタのファンが回っている間はプラグを絶対に抜かないでください。」ボタンをもう一度押すと確認されます。押さない場合、5秒後にメッセージは消えます。
2. 冷却ファンが約30秒間作動し続けて冷却サイクルを実行すると、電源LEDが**赤く高速点滅**します。電源LEDの点滅がゆっくりした動きになると、プロジェクタはスタンバイモードに入っています。プロジェクタを再びオンにしたい場合、プロジェクタが冷却サイクルを完了しスタンバイモードに入るまで待たなければなりません。スタンバイモードに戻ったら、「電源/スタンバイ」ボタンを押してプロジェクタを再起動してください。
3. 電源コンセントとプロジェクタから電源コードを抜きます。
4. 電源オフをした後すぐにプロジェクタの電源をオンにしないでください。

警告インジケータ

- ❖ 「ランプ」インジケータが赤い色で点灯すると、プロジェクタは自動的に遮断します。その場合は、お買い求めになった販売店またはサービスセンターへご連絡ください。
- ❖ 「温度」インジケータが約20秒間赤で点灯すると、プロジェクタが過熱していることを示します。オンスクリーン・ディスプレイに「プロジェクタが過熱しています。」というメッセージが表示されます。プロジェクタは自動的にシャットダウンします。通常の状態では、プロジェクタは冷却サイクルを完了してから、再度電源入れて使用することができますが、もし問題が解決しない場合は、お買い求めになった販売店またはサービスセンターへご連絡ください。
- ❖ 「温度」インジケータが約30秒間赤で点滅すると、「ファンエラー」というメッセージが表示されます。ランプはまもなく自動的に消えます。」というメッセージが表示されます。その場合は、お買い求めになった販売店またはサービスセンターへご連絡ください。

投影された映像の調整

プロジェクタの高さを調整する

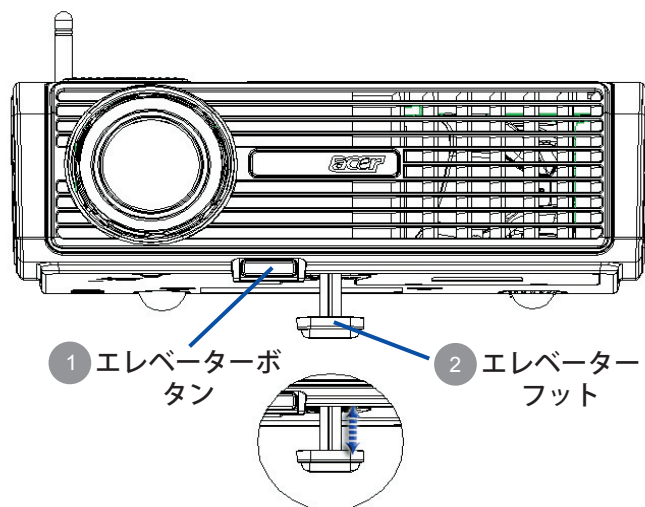
プロジェクタには、高さを調整するためのエレベーターフットが付いています。

プロジェクタを高くする:

1. エレベーターボタンを押してください ❶。
2. プロジェクタを好みの表示角度まで上げ ❷, ボタンを放してエレベーターフットを固定してください。

プロジェクタを低くする:

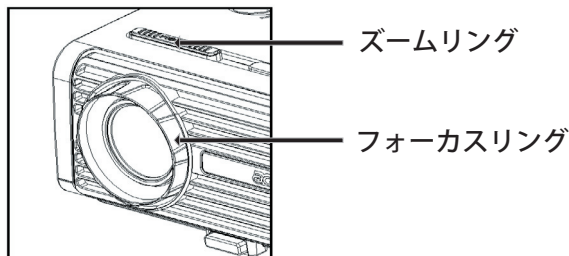
1. エレベーターボタンを押してください。
2. プロジェクタを下げ、ボタンを放してエレベーターフットを固定してください。



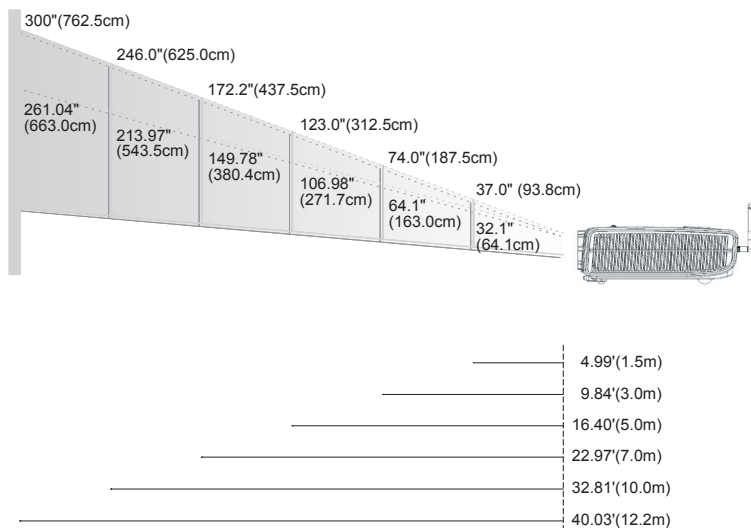
インストール

プロジェクタのズーム/フォーカスを調整する

ズームイン/アウトはズームリングで調整できます。画像のフォーカスを合わせるには、画像が鮮明になるまでフォーカスリングを回転させてください。プロジェクタは1.5m～12.2mの距離でフォーカスが合います。



画面サイズと投射距離の目安



スクリーン 対角線	Max.	37.0" (93.8cm)	74.0" (187.5cm)	123.0" (312.5cm)	172.2" (437.5cm)	246.0" (625.0cm)	300.0" (762.5cm)
	Min.	32.10" (81.5cm)	64.19" (163.0cm)	106.98" (271.7cm)	149.78" (380.4cm)	213.97" (543.5cm)	261.04" (663.0cm)
画面サイズ	Max.(WxH)	29.50" x 25.60" (75.0 x 62.5cm)	59.06" x 44.29" (150.0 x 112.5cm)	98.43" x 73.82" (250.0 x 187.5cm)	137.80" x 103.35" (350.0 x 262.5cm)	196.85" x 147.64" (500.0 x 375.0cm)	240.16" x 180.12" (610.0 x 457.5cm)
	Min.(WxH)	25.68" x 19.26" (65.2 x 48.9cm)	51.35" x 38.51" (130.4 x 97.8cm)	85.59" x 64.19" (217.4 x 163.0cm)	119.82" x 89.87" (304.3 x 228.3cm)	171.17" x 128.38" (434.8 x 326.1cm)	208.83" x 156.62" (530.4 x 397.8cm)
投射距離		4.99' (1.5m)	9.84' (3.0m)	16.40' (5.0m)	22.97' (7.0m)	32.81' (10.0m)	40.03' (12.2m)

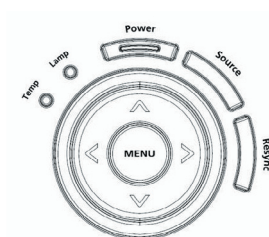
❖この表は参考用です。

ユーザーコントロール

コントロールパネル& リモートコントロール

機能を調整する方法には：リモートコントロールまたはコントロールパネルの2通りがあります。

コントロールパネル



リモートコントロール



コントロールパネルを使うには

Power(電源)

- ▶ 19～20ページの“プロジェクタの電源オン/オフ”の項をご参照ください。

Resync(リシンク)

- ▶ 自動的にプロジェクタの入力ソースを選びます。

Source(ソース)

- ▶ 「ソース」を押してRGB、コンポーネント-p、コンポーネント-l、S-ビデオ、コンボジットビデオ、DVI-D（オプション）、HDTVソースを選択します。

Menu(メニュー)

- ▶ “メニュー”ボタンを押すとオンスクリーン・ディスプレイ(OSD)メニューを開きます。OSDを終了するには、もう一度“メニュー”ボタンを押してください。
- ▶ アイテムの選択内容を確認します。

4方向選択キー

- ▶ ▲ ▼ ◀ ▶ ボタンを押して、アイテムの選択や選択内容の調整をします。

ユーザーコントロール

リモートコントロールを使うには

Power(電源)

- ▶ 19～20ページの“プロジェクタの電源オン/オフ”の項をご参照ください。



Laser Button(照明)

- ▶ このボタンを押し下げると、LEDポインタがアクティブになります。

Resync(リシンク)

- ▶ 自動的にプロジェクタの入力ソースを選びます。

Source(ソース)

- ▶ 「ソース」を押してRGB、コンポーネント-p、コンポーネント-l、S-ビデオ、コンボジットビデオ、DVI-D（オプション）、HDTVソースを選択します。

Freeze(フリーズ)

- ▶ “フリーズ”ボタンを押して、映像を静止します。

Hide(非表示)

- ▶ ビデオを一時的にビデオをオフにします。「非表示」を押すと画像が非表示になり、もう一度押すと画像のディスプレイが再び表示されます。

Aspect Ratio(縦横比)

- ▶ この機能を使用して、目的の縦横比を選択します。（4:3/16:9/自動）

Mute(消音)

- ▶ この機能を使用して音量をオフにします。

4方向選択キー

- ▶     を使用してアイテムを選択するか、OSDメニュー操作に対して行った選択を調整します。

Keystone(キーストン)

- ▶ キーストンのボタンでプロジェクタの傾きによって起こるゆがみを調整します。（±16°）

Menu(メニュー)

- ▶ “メニュー”ボタンを押すとオンスクリーン・ディスプレイ（OSD）メニューを開きます。OSDを終了するには、もう一度“メニュー”ボタンを押してください。

Zoom(デジタルズーム)

- ▶ デジタルズームイン/ズームアウト

Back(戻る)

- ▶ OSDメニュー操作の前の手順に戻ります。

ユーザーコントロール

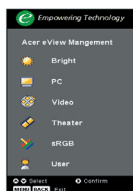
マウス/マウスの右クリック/マウスの左クリック

- ▶ これらの機能は、PCまたはMACのマウスと同じです。



機能割り当てキー

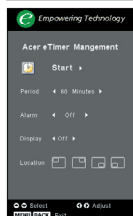
Acer Empowering Keyには、「Acer eView管理」、「Acer eTimer管理」、「Acer eOpening管理」のAcer固有の3つの機能が組み込まれています。1秒以上「e」キーを押すと、オンスクリーンディスプレイのメインメニューが起動し、その機能を変更できます。



Acer eView管理

- ▶ "e" を押して「Acer eView管理」サブメニューを起動します。

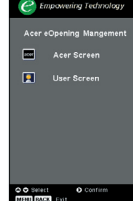
「Acer eView管理」は、ディスプレイモード選択用です。詳細については、オンスクリーンディスプレイメニューセクションを参照してください。



Acer eTimer管理

- ▶ "e" を押して「Acer eTimer管理」サブメニューを起動します。

「Acer eTimer Management」では、プレゼンテーションタイムコントロール向けにリマインディング機能が用意されています。詳細については、オンスクリーンディスプレイメニューセクションを参照してください。



Acer eOpening管理

- ▶ "e" を押して「Acer eOpening管理」サブメニューを起動します。

「Acer eOpening Management」により、起動画面をカスタマイズされた画像に変更できます。詳細については、オンスクリーンディスプレイメニューセクションを参照してください。

音量

- ▶ 音量をアップ/ダウンします。

ページアップ (コンピュータモードのみ)

- ▶ ページ送りにはこのボタンを使用します。この機能は、プロジェクタがUSBケーブルでコンピュータに接続されている場合にのみ有効です。

ページダウン (コンピュータモードのみ)

- ▶ ページ戻しにはこのボタンを使用します。この機能は、プロジェクタがUSBケーブルでコンピュータに接続されている場合にのみ有効です。

ユーザーコントロール

S-Video

- ▶ 「Sビデオ」を押すと、Sビデオソースにソースが変更されます。

VGA

- ▶ 「VGA」を押すと、VGAインコネクタにソースが変更されます。このコネクタはアナログRGB、YPbPr (480p/576p/720p/1080i)、YCbCr (480i/576i)、RGBsyncをサポートします。

ビデオ

- ▶ 「ビデオ」を押すと、コンポジットビデオソースにソースが変更されます。

コンポーネント

- ▶ 「コンポーネント」を押すと、コンポーネントコネクタにソースが変更されます。このコネクタはYPbPr (480p/576p/720p/1080i)とYCbCr (480i/576i)をサポートします。

DVI

- ▶ 「DVI」を押すと、DVIコネクタにソースが変更されます。このコネクタはデジタルRGB、アナログRGB、YPbPr (480p/576p/720p/1080i)、YCbCr (480i/576i)、HDCP信号をサポートします。

言語 (PD523PD/PD525PD/PD527D専用)

- ▶ 多言語OSDメニューを選択します。

ワイヤレス (PD525PW/PD527Wのみ)

- ▶ 「ワイヤレス」を押すと、「Acer eProjection管理」を通してPCからプロジェクタまでワイヤレスで送信される画像を表示します。

ユーザーコントロール

オンスクリーン・ディスプレイメニュー

プロジェクタには、多言語オンスクリーン・ディスプレイ (OSD) メニューが装備されており、映像調整や様々な設定が可能になっています。

操作方法

1. OSDメニューを開くには、リモコンの「メニュー」またはコントロールパネルの「メニュー」を押します。
2. OSDが表示されたら、◀ ▶ キーを押してメインの項目を選択します。希望するメインメニューアイテムを選択した後、▼ を押してサブメニューに入って機能設定を行います。
3. 指定項目（サブメニュー）を選択する際は ▲ ▼ ボタンを押して選択し、◀ ▶ ボタンでアイテムの選択もしくは、設定を調整します。
4. サブメニューで調整する次の項目を選択し、上で述べたように調整してください。
5. リモコンまたはコントロールパネルの「メニュー」または「戻る」を押すと、画面はメインメニューに戻ります。
6. OSDを終了するには、リモコンまたはコントロールパネルの「メニュー」または「戻る」をもう一度押します。OSDメニューが閉じ、プロジェクタは新しい設定を自動的に保存します。



ユーザーコントロール



カラー (コンピュータ/ビデオ モード)

画面モード

多くの工場出荷時設定がさまざまな画像のタイプに最適化されています。

- ▶ 明るさ：明るさを最適化します。
- ▶ PC：PCアプリケーションなどの映像
- ▶ ビデオ：明るい環境でビデオを再生。
- ▶ ビデオ：明るい環境でビデオを再生。
- ▶ sRGB：ツールカラーを最適化します。
- ▶ ユーザー：ユーザーの設定を記憶します。

明るさ

イメージの明るさを調整します。

- ▶ ◀ を押すとイメージが暗くなります。
- ▶ ▶ を押すとイメージが明るくなります。

コントラスト

コントラストは、画像の明るい部分と暗い部分の差異を調整します。コントラストを調整すると、画像の白黒要素が変化します。

- ▶ ◀ を押すとコントラスト値が減少します。
- ▶ ▶ を押すとコントラスト値が増加します。

色温度

色温度を調整します。“温度”設定が高くなると画面は寒色が強くなり、“温度”が低くなると暖色が強くなります。

ユーザーコントロール



カラー (コンピュータ/ビデオ モード)

白セグメント

白セグメントコントロールを使用して、DMPチップの白レベルを設定します。0 は最小セグメントを表し、10は最大セグメントを表します。画像を濃くしたい場合は、最大設定の方に調整してください。滑らかでより自然な画像を表示するには、最小設定の方に調整します。

ガンマ

暗い画面の表示に影響を及ぼします。ガンマ値を大きくすると、暗い画面が明るくなります。

赤

赤色を調整します。

緑

緑色を調整します。

青

青色を調整します。

彩度

カラー設定では、ビデオ映像を白黒から彩度のあるフルカラーへ調整します。

- ▶ ◀ を押すとビデオ映像の彩度が減少します。
- ▶ ▶ を押すとビデオ映像の彩度が増加します。

色合い

色合いは赤と緑のカラーバランスを調整します。

- ▶ ◀ を押すとイメージの緑色の要素が増加します。
- ▶ ▶ を押すとイメージの赤色の要素が増加します。



❖ 「彩度」と「色合い」機能は、コンピュータモードまたはDVIモードではサポートされて

ユーザーコントロール



イメージ (コンピュータ/ビデオ モード)

キーストン

キーストンのボタンでプロジェクタの傾きによって起こるゆがみを調整します。(±16°)

アスペクト比

この機能は、お好みのアスペクト比に合わせてお選びいただけます。

- ▶ 自動: 画像の幅対高さの比をオリジナルの値に保ち、ネーティブの水平または垂直画素に適合するように画像を最大限にします。
- ▶ 4:3: 入力ソースはプロジェクション画面に合うように拡大縮小され、4:3比に戻ります。
- ▶ 16:9: 入力ソースは画面の幅に合わせて拡大縮小され、高さを狭めて表示された画像を16:9比にします。

投射方式

- ▶  **前面－デスクトップ**
工場出荷時の初期設定。
- ▶  **裏面－デスクトップ**
この機能を選択すると、プロジェクタは反転した映像に表示することができるため、半透明スクリーンを使用し、リア投影できます。
- ▶  **前面－天井**
この機能を選択すると、プロジェクタは映像の上下を逆にすることができるため、プロジェクタを天井に取り付けることができます。
- ▶  **裏面－デスクトップ**
この機能を選択すると、プロジェクタは反転した映像に表示することができるため、半透明スクリーンを使用し、リア投影できます。

ユーザーコントロール



イメージ (コンピュータ/ビデオ モード)

水平位置

- ▶ ◀ を押して、イメージを左へ移動させます。
- ▶ ▶ を押して、イメージを右へ移動させます。



❖ 「水平位置」、「垂直位置」、「周波数」および「追跡」機能はDVIおよびビデオモードの元ではサポートされていません。

垂直位置

- ▶ ◀ を押して、イメージを下へ移動させます。
- ▶ ▶ を押して、イメージを上へ移動させます。

周波数

“周波数”は、コンピュータグラフィックカードの周波数に合わせて、ディスプレイデータ周波数を変更するためのものです。縦のちらつき線がある場合には、この機能を使って調整を行ってください。

トラッキング

ディスプレイの信号タイミングをグラフィックカードの信号タイミングに同期化する場合、“トラッキング”を選択します。画像が不安定またはちらつく場合にも、トラッキング機能を使って修正します。

ユーザーコントロール



管理 (コンピュータ/ビデオ モード)

ECOモード

「オン」を選択するとプロジェクタランプが薄暗くなって消費電力を抑え、ランプの寿命を伸ばしノイズを軽減します。「オフ」を選択すると、標準モードに戻ります。

自動操業停止

時間を設定した後信号入力がないと、プロジェクタは自動的にシャットダウンします。

ソースロック

ソースロックがオフになると、現在の入力信号が失われるとプロジェクタは他の信号を検索します。ソースロックがオンになると、次のチャンネルに対してリモコンの「ソース」ボタンを押す前に、現在のソースチャンネルを「ロック」します。

メニューの場所

ディスプレイ画面のメニューの場所を選択します。

起動スクリーン

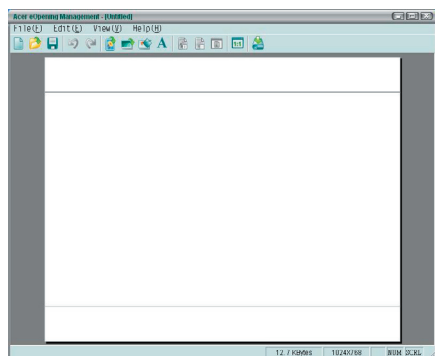
この機能を使用して、目的の起動スクリーンを選択します。ある設定から他の設定に変更すると、OSDメニューを終了するとき、新しい設定が有効になります。

- ▶ Acer :Acerプロジェクタのデフォルトの起動スクリーン。
- ▶ ユーザー:ユーザーカスタマイズされたスクリーンで、USBケーブルとAcer eOpening管理ユーティリティを通してPCからプロジェクタにダウンロードされます（以下の項の説明を参照してください）。

ユーザーコントロール



管理 (コンピュータ/ビデオ モード)



Acer eOpening管理は、ユーザーがAcerプロジェクタのデフォルトの起動スクリーンを目的の画像に変更するためのユーティリティです。バンドルされたCDからAcer eOpening管理をインストールできます。PCからプロジェクタに目的の画像をダウンロードするAcer eOpening管理ユーティリティ。ダウンロードを始める前に、プロジェクターを“ダウンロードモード”に切り替える必要があります。以下の手順で“ダウンロードモード”に切り替えてください。

1. プロジェクタの電源が入っている場合は、電源ボタンを二回押してプロジェクタをオフにしてください。
2. プロジェクタからAC電源コードを抜きます。
3. Menu”と“ ボタンを同時に押し下げ、プロジェクタのAC電源コードを差し込みます。
4. 温度とランプのLEDが点灯したら、両方のボタンを離してください。プロジェクタはダウンロードモードに入ります。
5. USBケーブルがPCからプロジェクタに接続されていることを確認してください。

ユーザーコントロール



管理 (コンピュータ/ビデオ モード)

ランプ使用時間

ランプの経過時間を表示します（時間表示）。

ランプ警告

“ランプの交換”時における警告メッセージの表示／非表示を切り換えるには、この機能を選択します。ランプの寿命が切れる30時間前に、メッセージが表示されます。

ランプリセット

「はい」を選択した後に ◀▶ ボタンを押すと、ランプの時間カウンタは0時間に代わります。

リセット

「はい」を選択した後に ◀▶ ボタンを押すと、すべてのメニューのディスプレイパラメータが工場出荷時設定に戻ります。

ユーザーコントロール



オーディオ (コンピュータ/ビデオ モード)

音量

- ▶ ◀ を押して、音量を下げます。
- ▶ ▶ を押して、音量を上げます。

ミュート

- ▶ 「オン」を選択すると音声が入ります。
- ▶ 「オフ」を選択すると音声が入ります。

電源オン/オフ音量

電源オン/オフになっているとき、この機能を選択して調整を行います。

アラーム音量

プロジェクトにエラーがあるとき、この機能を選択してボリュームを調整します。

ユーザーコントロール



タイマー (コンピュータ/ビデオ モード)

タイマーの開始

▶ を押してタイマを介し/停止します。

タイマーの期間

▶ を押してタイマ期間を調整します。

タイマーの音量

この機能を選択すると、タイマ機能が有効になったりタイムアップするときの音量を調整できます。

タイマーの画面

▶ を押して画面のタイマディスプレイモードを選択します。

タイマーの位置

画面でタイマの場所を選択します。

ユーザーコントロール



言語 (コンピュータ/ビデオ モード)

言語

OSDは多言語で表示することができます。 ▲ または ▼ ボタン
でお好みの言語を選択してください。

▶ を押して選択を確認します

ワイヤレスプロジェクション

はじめに

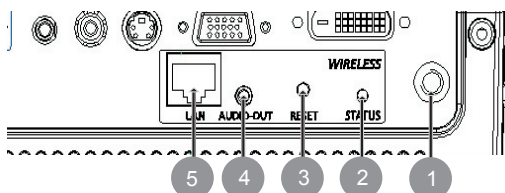
このスクリーンは、このプロジェクタのワイヤレスプロジェクション機能を紹介します。ワイヤレスプロジェクション機能は、統合Acerワイヤレスプレゼンテーションゲートウェイ(WPG)モジュールを搭載したモデルでのみ使用できます。Acer WPGにより、複数のユーザーはAcerプロジェクタにワイヤレスで接続できます。WP100を使えば、ケーブルの着脱が不要になるので、特に何人ものプレゼンターが登場する場合など、会議の時間をより効率的に運用できるようになります。

ワイヤレスプロジェクションを実行するには、リモコンの「ワイヤレス」ボタン、またはコントロールパネルまたはリモコンの「ソース」ボタンを押して、入力ソースタイプを「ワイヤレス」に変更する必要があります。

システム条件

- オペレーティングシステム: Windows® 2000またはWindows® XP
- CPU: Intel® Pentium® III 750 MHzまたは同等プロセッサ、128 MBのRAM
- 無線LAN: IEEE 802.11b/g対応
- インターネットブラウザ: Internet Explorer 5.0以降

I/Oインタフェース:



No.	各部名称	説明
1	アンテナコネクタ	外部アンテナを接続します。
2	ステータスLED	WPGの動作状況を表示します。
3	リセットボタン	リセットボタンを素早く押すと、ユーザーの設定を変更せずにWPGがリセットされます。リセットボタンを4秒以上押し続けると、WPGは工場出荷時設定にリセットされます。
4	オーディオ出力ジャック	PCからワイヤレスで受信したオーディオ信号を出力します。
5	RJ-45 Ethernetジャック	LANを使ってWPGをインターネットに接続します。

ワイヤレスプロジェクション

WPGのセットアップ

電源状況はLEDから確認できます。

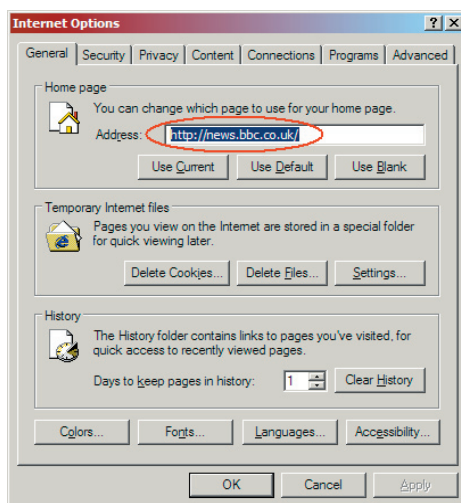
- 赤色はWPGに電源が供給されてはいるが、スイッチがオンになっていないことを示します。
- 緑色はWPGを使用して画像が表示されていることを示します。

また、ドングル側のLAN（RJ-45）ポートにLANケーブルを接続すれば、インターネットに接続して、インタラクティブなコンテンツを検索したり、ファームウェアをダウンロードしたりできます。

初めてWPGに接続する

WPGに最初に接続する場合、WPGからドライバをダウンロードしてインストールする必要があります。ソフトウェアはWPGに保存されているので、インストール用CDは必要ありません。ソフトウェアをインストールするには、コンピュータへの管理者レベルのアクセス権がなければなりません。

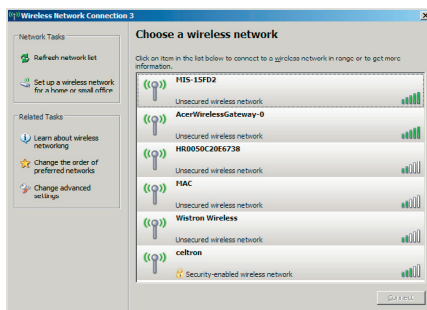
- Ⓢ ソフトウェアをダウンロードするには、ブラウザがWebサイトを開くように設定されていることを確認する必要があります。ブラウザが起動時に空白ページを表示するように設定されている場合、ソフトウェアのダウンロードはできません。ブラウザの「ツール」メニューから「インターネットオプション」を開いて、ホームページのテキストボックスが空欄（またはabout:blank）になっていないことを確認してください。



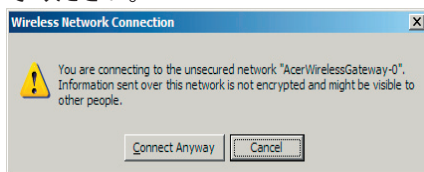
ワイヤレスプロジェクション

ソフトウェアをダウンロードする

- 1) ノートパソコンの電源を入れて、無線LANを起動してください。
- 2) 適当なWLANマネージャを使って利用可能なWLANネットワークを検索してください。
- 3) 利用可能なネットワークから「AcerProjector」と表示されたネットワークを選択して、接続してください。複数のWPGがある場合は、スクリーンの左上に表示されているSSIDから接続したいWPGを指定してください。



- 4) セキュリティ警告が表示された場合でも、「Connect Anyway(接続)」を選択してください。

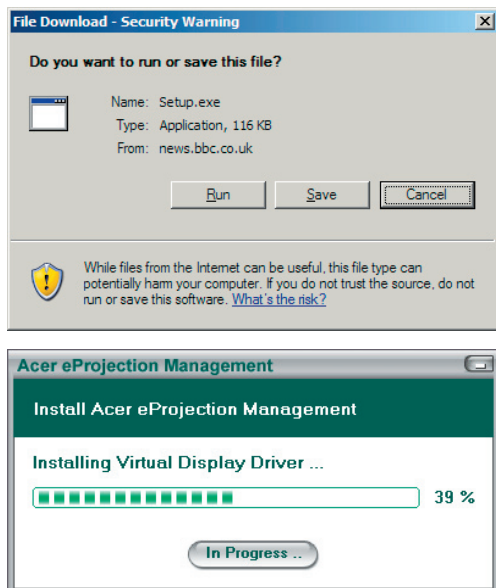


- 5) 接続後、インターネットブラウザを開くと、Acer WPGのトップページが表示されます。ドライバはこのページからダウンロードできます。



ワイヤレスプロジェクション

- 6) リンクをクリックして、ドライバのダウンロードおよびインストールを行ってください。セキュリティ警告が表示された場合でも、「OK」をクリックしてインストール作業を進めてください。ドライバのインストール中は、画面のちらつくことがあります。



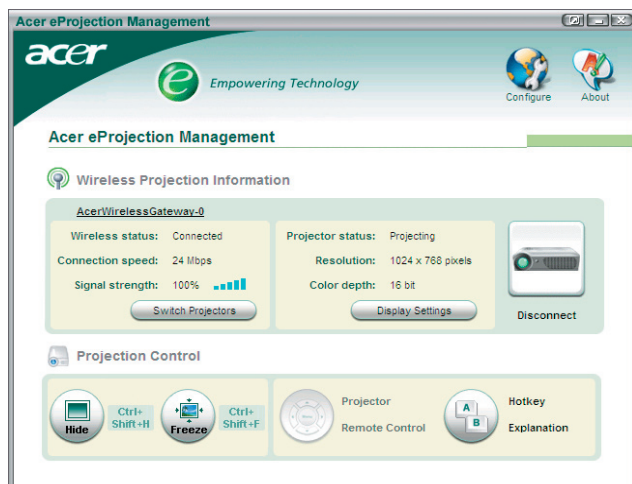
- 7) インストールが完了すると、Acer無線プロジェクションゲートウェイのソフトウェアが開きます。



ワイヤレスプロジェクション

プロジェクタに接続する

ソフトウェアのインストールが完了すると、Acer WPGを備えたどんなプロジェクタにも接続できるようになります。プロジェクタに接続するには、デスクトップ上のAcer WPGのアイコンをダブルクリックして、アプリケーションが起動させてください。



アプリケーションは使用可能なWPGを自動的に検出します。検出されたWPGにはSSIDの「AcerProjector」の表示が割り当てられます。プロジェクタが固定されている場合、プロジェクタに特定のSSIDを割り当てることもできます。例えば、プロジェクタが設置されている部屋の番号でプロジェクタを区別できます（後述の「設定」の項目を参照）。

ノートパソコンが受信可能な範囲に複数のWPGがあつて（設置されている部屋は異なっているかもしれない）、使用可能な場合（後述の「設定」の項目を参照）、投影された画面左上に表示される「プロジェクタID」でそれぞれのWPGを区別できます。プロジェクタIDはランダムに生成された4桁の数字から構成されます。ノートパソコンのWPGアプリケーションにこれらの数字を入力すると、接続をそのプロジェクタだけに制限できます。

1台のWPGを使用できるのは常に1人のユーザーだけです。他のユーザーが同じプロジェクタを使用する場合は、「Disconnect（切断）」をクリックしてプロジェクタの使用を停止しなければなりません。その後、他のユーザーがそのプロジェクタを使用できるようになります。

ワイヤレスプロジェクション

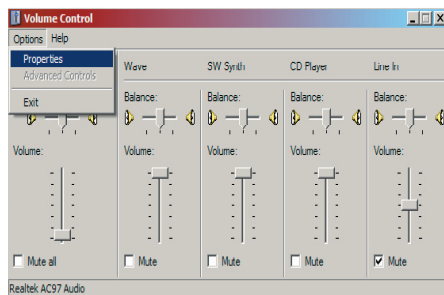
オーディオ機能を使用する

「ワイヤレス」が入力ソースとして選択されている場合、プロジェクタの内蔵スピーカーを通してオーディオの内容を再生できます。外付けスピーカーをWPGのオーディオアウトジャックに差し込むと、高品質のオーディオが再生されます。

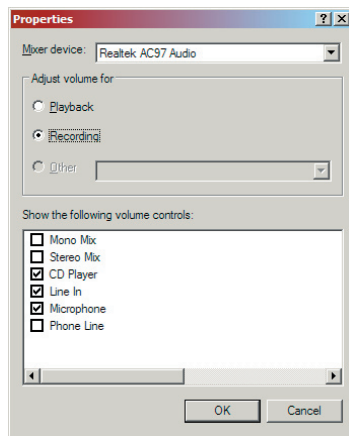
⑧ 以下で求められる設定では、オーディオドライバの種類により、用語が異なる場合があります。
WPGのオーディオ機能を使用する場合は、どのオーディオ設定もミュートにしないでください。

オーディオを設定するのは、以下の手順にしてください：

- 1) タスクバー上のスピーカーのアイコンをダブルクリックしてWindows®のボリュームコン
- 2) 「Options(オプション)> Properties(プロパティ)」を選択します。

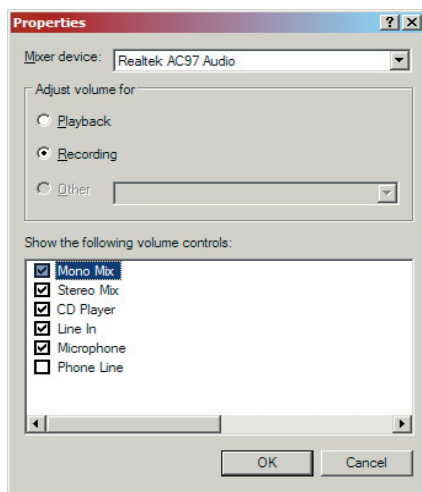


- 3) 「音量の調節」エリアの「Recording (録音)」を選択してください。

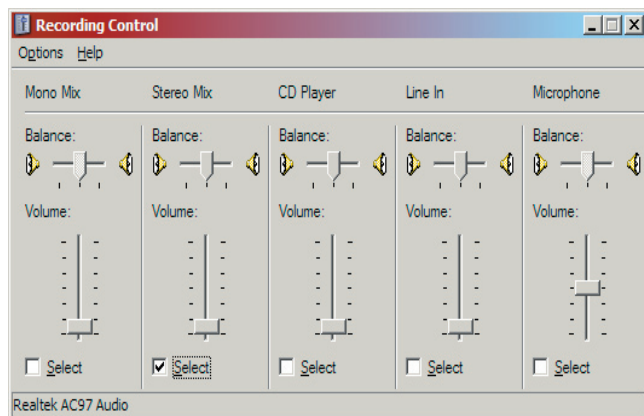


ワイヤレスプロジェクション

- 4) Mono Mix (モノミックス)、Stereo Mix (ステレオミックス)、Wave-out Mix (Wave出力ミックス) にチェックをつけてください。



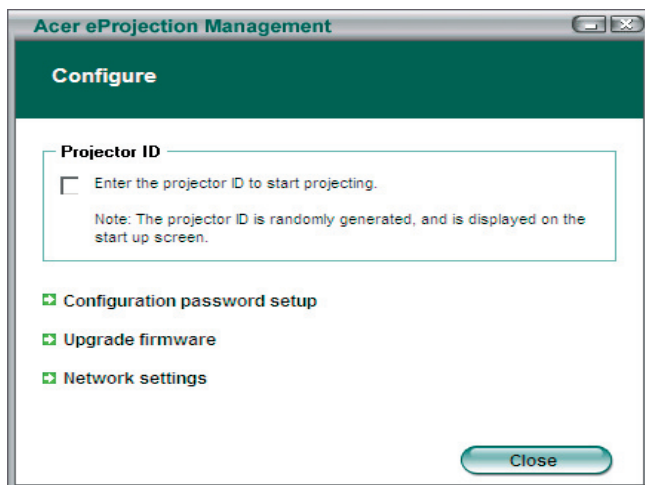
- 5) OKをクリックすると「録音コントロール」のウィンドウが表示されます。Mono Mix (モノミックス)、Stereo Mix (ステレオミックス)、Wave-out Mix (Wave出力ミックス) のいずれかを選択してください。



ワイヤレスプロジェクション

Acer WPGを設定する

設定を変更するには、Acer WPGに接続する必要があります。接続後、Acer WPG画面右上の「Configure（設定）」ボタンをクリックしてください。



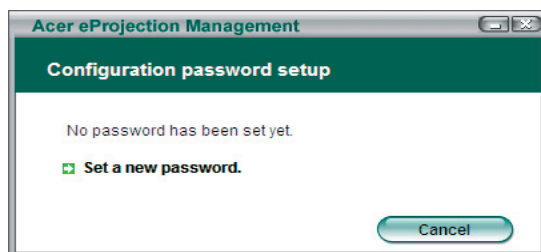
Projector ID（プロジェクタID）

この機能にチェックをつけると、プロジェクタの識別が可能となります。このオプションを使用可能にすると、プロジェクタが起動する時、またはプロジェクタが入力信号を受信していない時、4桁の数字がスクリーンに表示されます。

Configuration password setup（設定パスワードのセットアップ）

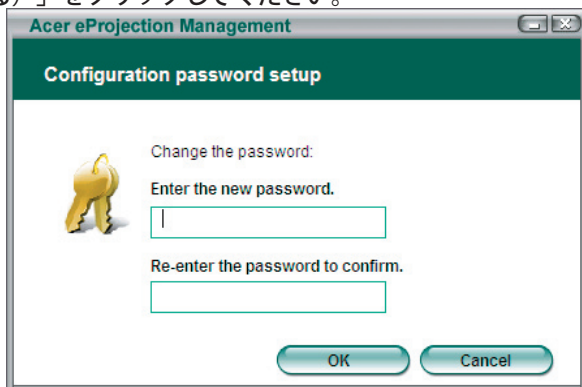
この機能を使用すると、設定メニューへのアクセスを制限するパスワードを設定できます。複数のユーザーがWPGを使用しており、自分の設定を他の人に変更されたくない場合、この機能は有効です。

このリンクに最初にアクセスすると、以下の画面が表示されます：

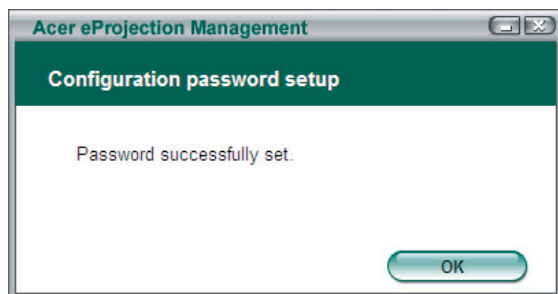


ワイヤレスプロジェクション

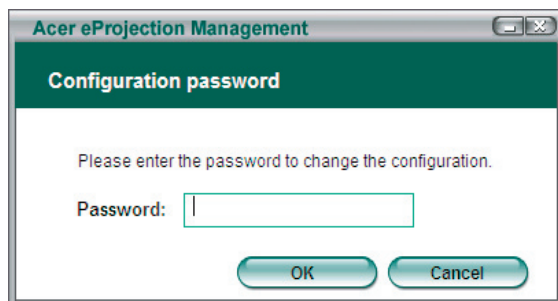
パスワードを設定するには、「Set a new password（新しいパスワードを設定する）」をクリックしてください。



パスワードを入力してください。16文字まで入力可能です。

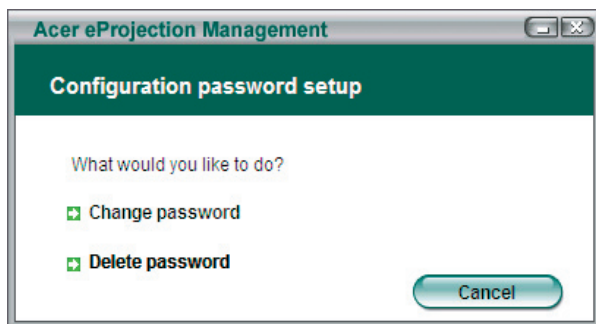


パスワードを設定すると、Acer WPGの設定を変更する場合に必ずパスワードの入力が求められます。



ワイヤレスプロジェクション

「Configuration password setup」をクリックすると、パスワードの変更または削除ができます。

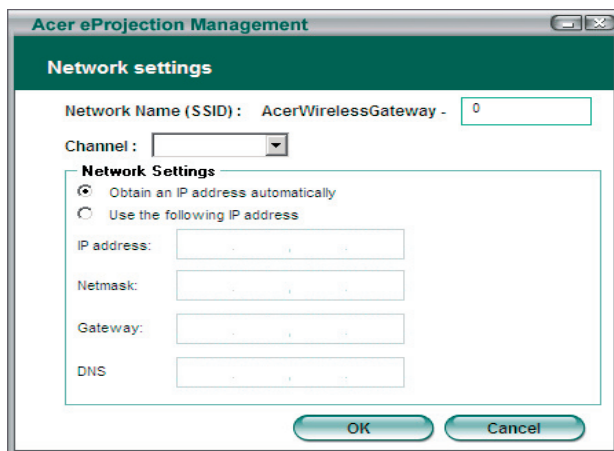


Upgrade firmware (ファームウェアのアップグレード)

このリンクをクリックすると、使用できる新しいファームウェアがあるかどうか確認できます。この機能を利用するには、インターネットにアクセス可能なネットワークに接続している必要があります。

Network Settings (ネットワーク設定)

このリンクをクリックすると、ネットワーク設定を変更できます。



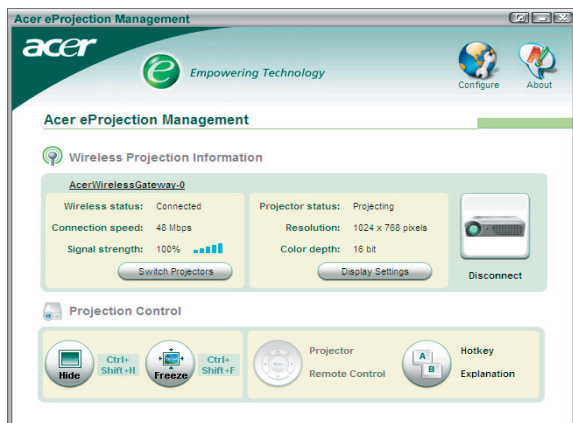
ここでは、SSIDをカスタマイズしてAcer WPGを識別できるようになります。また、IPアドレスを変更したり、IPアドレスを自動的に取得する、または静的IPアドレスを手動で設定するといったオプションを指定したりできます。

必要場合は、ノートパソコンが接続するのに使用するRFチャンネルも設定できます。

ワイヤレスプロジェクション

プロジェクションコントロール

プロジェクションコントロールでは様々な機能が利用できます。



Hide (非表示)

この機能を使うと、スクリーンを非表示して、聴衆に見せずに、ドキュメントを変更したり、必要な内密情報を参照したりできます。

Freeze (一時停止)

この機能を使うと、スクリーンの映像の動きを止めて、聴衆に見せずに、ドキュメントを変更したり、必要な内密情報を参照したりできます。

Projector remote control (プロジェクタのリモコン)

Acerプロジェクタの中には、Acer WPGをリモートコントロールデバイスとして使用できるタイプがあります。リモートコントロール可能な多くの機能がノートパソコンから直接実行できます。

Hotkey explanation (ホットキーの説明)

このボタンをクリックすると、ホットキーの機能の説明がすぐに表示されます。<Ctrl> + <Shift> + <E> を押すと、詳細モードと以下の簡易モードの間で表示を切り換えることができます:



トラブルシューティング

プロジェクタにトラブルが発生した場合は、以下をご参照ください。それでも、問題が解決しない場合は、お買い求めになった販売店、またはサービスセンターへお問い合わせください。

問題:画面に何も表示されない。

- ▶ すべてのケーブルと電源コードが、“インストール”の項で説明されているように正しくしっかりと接続されているか確認してください。
- ▶ コネクタのピンが曲がっている、または壊れていないか確認してください。
- ▶ プロジェクションランプがしっかりと装着されているか確認してください。詳しくは、“ランプの交換”のページ項をご覧ください。
- ▶ レンズキャップが取り外されているか、プロジェクタの電源がオンになっているか確認してください。
- ▶ 「非表示」機能が有効になっていないことを確認してください。

問題:イメージが一部しか表示されない、スクロールしてしまう、正しく表示されないなど。

- ▶ リモコンの「Re-Sync」（リシンク）ボタンを押します。
- ▶ PCをご使用の場合は:
コンピュータの解像度が1024×768 以上の場合は、以下の要領で解像度を修正してください。

Windows 3.xの場合:

1. Windowsプログラムマネージャで、メイングループの“Windows セットアップ”をクリックします。
2. ディスプレイの解像度設定が1024×768 相当またはそれ以下であるか確認してください。

Windows 95,98,2000,XPの場合:

1. “マイコンピュータ”アイコンをクリックし、“コントロールパネル”フォルダを開いて、“画面”アイコンをダブルクリックしてください。
2. “設定”タブを選択してください。
3. “デスクトップエリア”で解像度設定が確認できます。解像度設定が1024×768 相当またはそれ以下であるか確認してください。

プロジェクタがまだイメージ全体を投射できない場合は、ご使用になっているモニターの表示を変更する必要があります。以下の手順をご参照ください。

4. 前述の1~2に従ってください。次に、“詳細”ボタンをクリックしてください。
5. 詳細タブを押す。“モニター”タブで“変更”ボタンを選択してください。

6. 製造元のボックスで“標準モニターの種類”を選択してください。次に“モデル”のボックスで必要な解像度モードを選択してください。
 7. モニターディスプレイモードを1024×768 同等もしくはそれ以下に設定してください。
- ▶ ノートブックPCをご使用の場合：
 1. まず上記のコンピュータ解像度設定の手順通りに操作してください。
 2. で確認して下さい。ノートブックPCのディスプレイを外部出力に切り換えて下さい。詳しくはご使用のノートブックPCの取り扱い説明書
 - ▶ 解像度の変更が困難な場合や、モニターがフリーズしてしまう場合は、すべての機器とプロジェクションディスプレイを再起動させてください。その際は、プロジェクターの電源を先に入れてからパソコンを再起動して下さい。

問題:ノートブックまたはApple PowerBookコンピュータの画面が写らない。

- ▶ ノートブックPCをご使用の場合：

ノートブックPCの中には、外部映像出力を使用した場合、PC本体の映像表示が無効になってしまうものがあります。PC本体の映像表示をする方法は各機種によって異なります。詳細は、ご使用になっているコンピュータの添付資料をご覧ください。
- ▶ Apple PowerBookをご使用の場合：

コントロールパネルで、PowerBookディスプレイを開き、ビデオモニター“オン”を選択してください。

問題:画像が不安定、またはちらつく。

- ▶ “トラッキング”を使って修正してください。31ページ。
- ▶ コンピュータでモニターカラー設定を変更してください。

問題:イメージに縦のちらつき線がある

- ▶ “周波数”を調整してください。31ページ。
- ▶ グラフィックカードのディスプレイモードを設定しなおし、互換性を改善してください。27ページ。

問題:映像のフォーカスが合っていない。

- ▶ プロジェクタレンズのフォーカスリングを調整してください。22ページ。
- ▶ プロジェクション画面がプロジェクタから1.5m～12.2mの距離にあるか確認してください。

問題:16：9再生時、全画面表示しない。

プロジェクタ本体は自動的に16：9を検出し、縦横比を調整します。全画面表示しない場合は、下記を参考に縦横比を調整する必要があります。

- ▶ 16：9DVDをご覧になっている場合は、ご使用のDVDプレーヤー上で4：3アスペクト比を選択してください。
- ▶ ご使用のDVDプレーヤー上で4：3アスペクト比が選択できない場合は、プロジェクタのオンスクリーン・ディスプレイ（OSD）で縦横比の4：3を選択してください。

問題:ランプが焼き切れる、または小さな音がする。

- ▶ OSDから“投射方式”を選択し、投影方式を調整します。30ページ。

問題:ランプが焼き切れる、または小さな音がする。

- ▶ ランプの寿命が近づくと、焼き切れたり破裂音をさせたりすることがあります。このような場合、ランプモジュールを交換するまでプロジェクタを使用できません。ランプを交換するには“ランプの交換”の手順に従ってください。52ページ。

問題:LED照明メッセージ。

メッセージ	電源LED		温度LED	ランプLED
	青	赤		
スタンバイ状態(入力電源コード)	ゆっくりした点滅	○	○	○
ランプ照明	○	☀	○	○
電源オン	○	☀	○	○
電源オフ(冷却)	高速点滅	○	○	○
エラー(ランプエラー)	○	○	○	☀
エラー(熱エラー)	○	○	☀	○
エラー (ファンロックエラー)	○	○	点滅	○
エラー(過熱)	○	○	☀	○
エラー(ランプ故障)	○	○	○	☀

☀ =>ライトオン

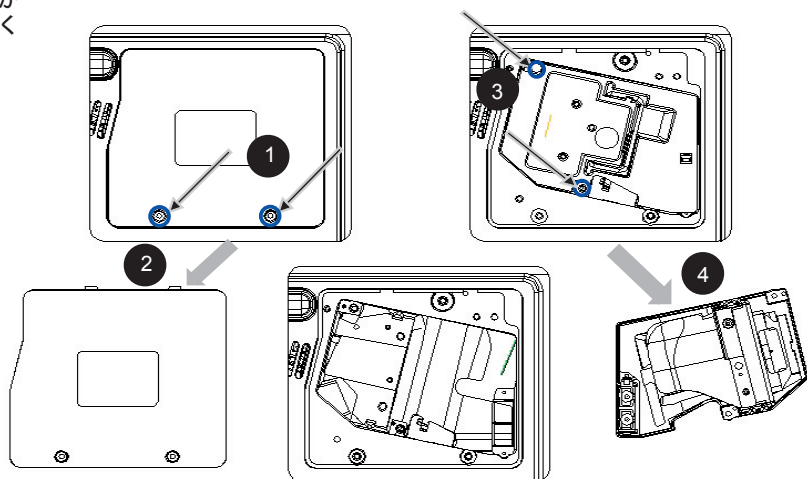
○ =>ライトオフ

ランプの交換

プロジェクタはランプの寿命を自動検出し、“ランプの寿命が近づいています。ランプを交換してください！”このメッセージが表示されたら、お近くの販売店やサービスセンターに連絡し、すぐにランプを交換してください。少なくともランプを交換する30分前に、プロジェクタの余熱が冷めていることを確認してください。



警告: は熱くなっています！熱が冷めてからランプを交換してください。



警告: 人体に害を及ぼす危険がありますので、ランプモジュールを落としたり、ランプの電球に触れたりしないでください。電球が落ちると、破片が飛び、ケガをする恐れがあります。

ランプ交換の手順：

1. 電源ボタンを押してプロジェクタの電源をオフにしてください。
2. 少なくとも30分は放置してプロジェクタの余熱を冷ましてください。
3. 電源コードを取り外してください。
4. ライバードライバーを使って、カバーからネジを外してください。①
5. カバーを押し上げて取り外します。②
6. ランプモジュールからネジ2本を外してください。③
7. ランプモジュールを引き出します。④

ランプモジュールを取り付ける際は、以上のステップを逆から行ってください。

問題:メッセージ喚起。

- ▶ ランプの寿命が切れかかると、「ランプの寿命が近づいています。ランプを交換してください！」というメッセージが約10秒間表示されます。
- ▶ システム温度が過熱すると、“プロジェクタが過熱しています。ランプはまもなく自動的に消えます。”が表示されます。
- ▶ ファンが故障すると、“ファンのエラーです。ランプはまもなく自動的に消えます。”が表示されます。

仕様

下で指定された仕様は、詳細予告なしに変更することがあります。最終仕様に関しては、Acerが公表したマーケティング仕様。

デバイス	- シングルチップ DLP™
ランプ	- ユーザーによる交換可能な230Wのランプ
解像度	- 1024 (H) X 768 (V)
ディスプレイカラー	- 16.7M 色
コントラスト比	- 2000:1 (フルオン/フルオフ)
均一性	- 90%
ノイズレベル	- 30dB(A)((標準モード / 27dB(A)(ECOモード)
投射レンズ	- F/2.4~2.65 f=28.04~33.59mm, 1.2X 倍手動ズーム
投射画面サイズ	- 24.6インチ~300インチ(0.625~7.62m)
投射距離	- 5~40 ft (1.5m~12.2m)
ビデオ互換性	- NTSC3.58/NTSC 4.43/PAL/SECAM およびHDTV 対応
	- コンポジットビデオ& S-Video 対応
水平周波数	- 31.5kHz~100kHz 水平スキャン
垂直周波数	- 56Hz~85Hz 垂直スキャン
使用電源	- ユニバーサルAC 入力100~240V ; 入力周波数 50/60Hz
入出力端子	- 電源: AC 電源入力ソケット
	- VGA入力
	▪ HDCP付きデジタル信号用DVI コネクタx1
	▪ VGA、コンポーネント、HDTV信号用15ピンD-sub x1
	- VGA出力:VGA出力用15ピンVGA出力x1
	- ビデオ入力:
	▪ コンポジットビデオRCA 入力 x 1
	▪ S-Video入力 x 1
	- USB: USBコネクタ x 1
	- オーディオ入力:オーディオ入力用ジャック x 1
	- オーディオ出力:ワイヤレスオーディオ出力用のイヤホンジャック(x1)
	- LAN出力:LANポート (x1) (10/100Mイーサネット用のRJ45コネクタ) (PD525PW/PD527W専用)
重量	- 5.9 lbs (2.7kg)
外形寸法(W x H x D)	- 11.1 x 4.1 x 10.1 インチ (283 x 104 x 256 mm)
動作環境	- 動作温度:41~95 °F (5~ 35 °C)
	湿度:80% (最大)
	- 保管温度: -4~140 °F (-20~60 °C)
	湿度: 80% (最大)
安全規格	- FCC Class B, CE Class B, VCCI-II, UL, cUL, TÜV-GS, C-tick, PSB, PSE, CB Report, CCC

互換モード

モード	解像度	(アナログ)		(DIGITAL)	
		垂直周波数 (Hz)	水平周波数 (kHz)	垂直周波数 (Hz)	水平周波数 (kHz)
VESA VGA	640 x 350	70	31.5	70	31.5
VESA VGA	640 x 350	85	37.9	85	37.9
VESA VGA	640 x 400	85	37.9	85	37.9
VESA VGA	640 x 480	60	31.5	60	31.5
VESA VGA	640 x 480	72	37.9	72	37.9
VESA VGA	640 x 480	75	37.5	75	37.5
VESA VGA	640 x 480	85	43.3	85	43.3
VESA VGA	720 x 400	70	31.5	70	31.5
VESA VGA	720 x 400	85	37.9	85	37.9
VESA SVGA	800 x 600	56	35.2	56	35.2
VESA SVGA	800 x 600	60	37.9	60	37.9
VESA SVGA	800 x 600	72	48.1	72	48.1
VESA SVGA	800 x 600	75	46.9	75	46.9
VESA SVGA	800 x 600	85	53.7	85	53.7
VESA XGA	1024 x 768	60	48.4	60	48.4
VESA XGA	1024 x 768	70	56.5	70	56.5
VESA XGA	1024 x 768	75	60.0	75	60.0
VESA XGA	1024 x 768	85	68.7	85	68.7
VESA SXGA	1152 x 864	70	63.8	70	63.8
VESA SXGA	1152 x 864	75	67.5	75	67.5
VESA SXGA	1152 x 864	85	77.1	85	77.1
VESA SXGA	1280 x 1024	60	63.98	60	63.98
VESA SXGA	1280 x 1024	75	79.98	***	***
VESA SXGA+	1400 x 1050	60	63.98	***	***
MAC LC 13"	640 x 480	66.66	34.98	***	***
MAC II 13"	640 x 480	66.68	35	***	***
MAC 16"	832 x 624	74.55	49.725	***	***
MAC 19"	1024 x 768	75	60.24	***	***
MAC	1152 x 870	75.06	68.68	***	***
MAC G4	640 x 480	60	31.35	***	***
i MAC DV	1024 x 768	75	60	***	***
i MAC DV	1152 x 870	75	68.49	***	***
i MAC DV	1280 x 960	75	75	***	***

規制と安全通知

この付録は、Acerプロジェクトの一般的通知を一覧表示しています。

FCC規定

この装置は、FCC規定の第15条に準じ、Class Bデジタル機器の制限に従っています。これらの制限は家庭内設置において障害を防ぐために設けられています。本装置はラジオ周波エネルギーを発生、使用し、さらに放射する可能性があり、指示にしたがってインストールおよび使用しなければ、ラジオ通信に有害な障害を与える場合があります。

しかしながら、特定の 방법으로設置すれば障害を発生しないという保証は何もありません。この装置がラジオやTV受信装置に有害な障害を与える場合は（装置の電源を一度切って入れなおすことにより確認できます）、障害を取り除くために次の方法にしたがってください。

- 受信アンテナの方向を変えるか、設置場所を変える
- この装置と受信装置の距離をあける
- この装置の受信装置とは別のコンセントに接続する
- ディーラーか経験のあるラジオ/TV技術者に問い合わせる

注意：シールドケーブル

本製品にほかの装置を接続する場合は、国際規定に準拠するためにシールド付きのケーブルをご使用ください。

警告

メーカーが許可しない解体や修正を行った場合は、FCCが規定するこのコンピュータを操作するユーザーの権利は失われます。

ご使用条件

このデバイスはFCC規定の第15条に準拠しています。次の2つの条件にしたがって操作を行うことができます。

1. このデバイスが有害な障害を発生しないこと
2. 不具合を生じ得るような障害に対応し得ること。

注意：カナダにお住まいの方へ

このClass Bデジタル装置は、Canadian Interference-Causing Equipment Regulationsのすべての条件を満たしています。

Remarque à l'intention des utilisateurs canadiens

Cet appareil numérique de la classe B est conforme à la norme NMB-003 du Canada.

欧州連合諸国向け適合宣言

Acerは、このノートWireless Gatewayが指令1999/5/ECの必須条件と、その他の関連条項に準拠していることを、ここに宣言します。(完全な文書については、<http://global.acer.com>をご覧ください。)

Соответствует сертификатам, обязательным в РФ

ME61

安全に関するご注意

以下の内容を良くお読み頂き、指示に従ってください。

1. 本製品に表示されているすべての警告事項および注意事項を守ってください。
2. 本製品を清掃するときは、電源コードをコンセントから引き抜いてください。液体クリーナーまたはエアゾールクリーナーは使用しないでください。少しだけ水で湿らせた布を使って清掃してください。
3. 本製品を水溶液に触れるおそれのある所で使用しないでください。
4. 本製品は、安定したテーブルの上に置いてください。製品が落下して、重大な損傷を招く恐れがあります。
5. ラベルに表示されている定格電圧の電源をご使用ください。ご不明な点がある場合は、弊社のカスタマーサービスセンターまたは現地の電気会社にお問い合わせください。
6. 電源コードの上に物を置かないでください。また、電源コードは踏んだり引っ掛けやすいところに配置しないでください。
7. キャビネットのスロットから物を押し込まないでください。高圧で危険な個所に触れたり部品がショートしたりして、火災や感電の危険を招く恐れがあります。
8. お客様ご自身で修理を行わないでください。本製品のカバーを開けたりはずしたりすると、高圧で危険な個所に触れたりその他の危険にさらされるおそれがあります。本製品の修理に関しては、保証書に明示されている保守サービス会社にお問い合わせください。
9. 次の場合、本製品の電源をOFFにし、コンセントからプラグを引き抜き、保証書に明示されている保守サービス会社にご連絡ください。
 - a. 電源コードまたはプラグが損傷したり擦り切れたりしたとき。
 - b. 液体が本製品にこぼれたとき。
 - c. 本製品が雨や水にさらされたとき。
 - d. 本書の指示に従っても本製品が正常に動作しないとき。ユーザーは、操作指示として述べられている個所だけを調整してください。それ以外の部分を間違えて調整した場合、障害が生じ、しばらく正常動作の状態に戻すまで必要以上に時間がかかることがあります。
 - e. 本製品を落としたとき、またはケースが損傷したとき。問題が生じ、本製品がサービスを必要とするとき。
10. 予期しない電気ショックを防止するために、正しく接地されたコンセントにACアダプタを差し込んでください。

規制のための注意

注：次の規制情報は、ワイヤレスLANおよび対応モデルのためのものです。

全般

本製品はワイヤレス機能の使用が認められた国および地域における、ラジオ周波数および安全規格に準拠しています。次の情報はこのような装置が含まれる製品のためのものです。

ヨーロッパ共同体(EU)

本装置は以下にリストするEuropean Council Directivesが指定する必要条件に準拠しています。

73/23/EEC低電圧に関する規制

- EN 60950

89/336/EEC電磁準拠(EMC)に関する規制

- EN 55022
- EN 55024
- EN 61000-3-2/-3

99/5/EC ラジオおよび電話通信端末装置(R&TTE)に関する規制

- Art.3.1a) EN 60950
- Art.3.1b) EN 301 489 -1/-17
- Art.3.2) EN 300 328-2

適用国リスト

2004年5月現在の欧州連合の加盟国は次の通りです: ベルギー、デンマーク、ドイツ、ギリシャ、スペイン、フランス、アイルランド、ルクセンブルグ、オランダ、オーストリア、ポルトガル、フィンランド、スウェーデン、英国、エストニア、ラトビア、リトアニア、ポーランド、ハンガリー、チェコ共和国、スロバキア共和国、スロベニア、キプロス、マルタ。欧州連合諸国と同様に、ノルウェー、スイス、アイスランド、リヒテンシュタインでも使用が許可されています。このデバイスは、使用する国の規制と制約を遵守して使用してください。詳細については、使用する国の地方事務所にお問い合わせください。

FCC RFの安全要件

ワイヤレスLANミニPCIカードの放射出力は、FCC無線周波数の暴露限度をはるかに下回ります。しかし、ノートAcer Wireless Gatewayの通常の使用の際には、次の様に、人体に接触する可能性を最小限に押さえてください:

- 不適切な取り付けや不正使用は無線通信に障害を与える原因となります。また、内蔵アンテナを改造するとFCC認可と保証が無効になります。
- FCC RF暴露の準拠要件に準拠するために、画面セクションに組み込まれたワイヤレスLANミニPCIカードのアンテナと人の間は、少なくとも20cmの間隔を置いてください。

カナダ- 低出力ライセンス免除無線通信デバイス (RSS-210)

a. 一般情報次の2つの使用条件があります:

1. 電波障害を起こさないこと、
2. 誤動作の原因となる電波障害を含む、誤動作の原因となる電波障害を含む、すべての受信した電波障害に対して正常に動作すること。

b. 2.4 GHz帯での使用ライセンスを取得したサービスの電波障害を防ぐために、このデバイスは室内で使用します。屋外に取り付けるにはライセンスが必要です。